

はなはな だより とむろ



発行人
社会福祉法人康仁会
特別養護老人ホーム「はなの家とむろ」
〒243-0031 神奈川県厚木市戸室5-9-15
TEL.046-225-8787 FAX.046-225-8711

創造と挑戦の一年へ



【荻野運動公園 七色放水】 フォトサークルA 村田 義一

「はなの家とむろ」は3周年を迎えました。この間入居者158名、ショートステイ利用者1157名。通所介護利用者5712回と多くの方を受け入れることができました。

康仁会を設立された故安村朝淑初代理事長の意志を引き継ぎ、平成24年1月4日特養がスタートしました。組織づくり、職員教育、利用者様の受け入れ、通所介護事業の開始と職員が一丸となって頑張ってきました。

日々ユニットケアのあり方、多職種連携のあり方、特養での看取り等どうあるべきか問いつつ、共に考え話し合ってきました。迷った時は、「はなの家とむろ」の理念に立ち戻り解決に向けてよう努力してまいります。

この3年間、質の向上に向け、各職種の会議の充実・四季折々の行事を企画し、地域の信頼を得るため施設開放、ボランティアの受け入れと共に、職員も積極的に地域の行事に参加させていただきました。健康教室・家族交流会など年間行事として定着させていきます。

平成27年度は介護報酬改定の年です。特養には風当たりの強い改定になる見込みです。入居者対象が要介護3以上に対してはより一層の介護力の強化が必要です。また、利用者の自己負担が増えることも議論されており、ショートステイ・通所介護サービスの利用控えが予測されます。このピンチを2025年を見据えた平成27年第6次厚木市高齢者保健福祉計画を利用しチャンスに変え、サテライト型特養の増設・地域包括支援センター開設などを厚木市に働きかけていきます。また、人材育成への貢献として介護実習の受け入れなども行っていきます。平成27年は「創造と挑戦」の年でありたいと考えています。

今年もご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

理事長 中村美千子

第2回 はなはな健康塾開催!

参加者募集します!

はなの家とむろでは、地域のみなさまが住み慣れた地域での暮らしを続けるため、健康や介護予防に役に立つような健康講座を昨年よりはなの家とむろの専門職が知恵を集結して企画しています。名づけて「はなはな健康塾」。

今回は、地域の方からも感心が高い認知症について気軽に学べるような内容を考えています。統計では高齢者の約15%が認知症を抱えているという数字もあり、身近な病気になってきています。「自分や家族が認知症になったら?」「予防するためにはどうしたらいいの?」などなど、みんなで勉強してみませんか?興味のある方は、お気軽にお問い合わせください!

- 日時：2015年3月3日(火)・3月10日(火)の全2回
13:30~15:00(予定)
- テーマ：認知症について
- 開催場所：特別養護老人ホーム
はなの家とむろ 会議室
- 対象：地域にお住まいの方で、ご自分で施設まで来られる方
- 受付人数：20名(先着順)
- 申込み方法：2月28日までに当施設まで直接お申し込みください。



排泄サポートバッグを開発しました!



全室個室のユニット型特養のはなの家とむろでは、プライバシーや個人の生活習慣、好み等を尊重した暮らしが続けられるよう、個々の利用者にあわせたケアの実現を目指しています。利用者の尊厳に関わる排泄ケアは中でも一番配慮が必要なケアだといえます。そこでこの度翡翠・紫陽花ユニットでは、「介護もしやすくさりげない排泄用バッグはないか?」と検討していたのですが、機能や価格、デザインなどで折り合わず…それならいっそ自分達で作ってしまおう!!と完成したのがこのバッグです。裁縫の得意な職員が、弁当用バッグのデザインなどを参考に、排泄ケアに必要な道具をさりげなく入れるためのポケットを多くつけるなど、機能やデザインにこだわって作りました。現在、翡翠・紫陽花ユニットで活躍中です。ぜひ注目してみてくださいね!

特別養護老人ホーム はなの家とむろ

〒243-0031 神奈川県厚木市戸室5-9-15
TEL.046-225-8787 FAX.046-225-8711
URL:<http://koujinkai.tomei.or.jp/>
E-mail:tokuyo-info@tomei.or.jp

【アクセス】

交通：小田急小田原線 本厚木駅北口下車
神奈中バス2番線乗り場より 25系統
「緑ヶ丘循環」または26系統「東京工芸大学行」乗車にて約10分。アンリツ前下車徒歩3分。

笑顔添えて 心に寄り添うところ

スタッフの一言

●編集後記●

お陰様でこの1月ではなの家とむろも4年目を迎えることができました。

皆様はどのようなお正月を過ごしましたか?私はまめに(まじめに)働き、まめに(元気に)暮らしていけるようたくさん黒豆を食べました。

本年も利用者様が笑顔で過ごしていただけるよう努めてまいりますので、宜しくお願い致します。



家族交流会 & 寿司バイキング



去る11月29日に家族交流会を開催しました。今年は、入居者様の日常生活を知っていただくと共に、より身近に施設を感じていただくため、お寿司バイキングと家族交流会の二本立てで企画しました。本号では、その様子をお伝えします。

♪お寿司バイキング♪

美味しいお寿司を食べながら入居者様とご家族で楽しい団欒のお時間を過ごしていただきました。また、たくさんおかわりをされている入居者様もいらっしゃいました。お寿司はどの世代の方にも大人気ですね。

♪家族交流会♪

今年の家族交流会は、後日、ご家族同士が施設で顔を合わせた時に「こんにちは」とあいさつができるような【顔なじみの関係を築いていただく】ことを目標に企画しました。施設とご家族はもちろんですが、ご家族同士も交流や理解を深めていただきました。



●やはり1番人気は
マグロでした♪



美味しい
ねー♪



素敵な時間を
過ごすことが
できました



今回は、懇談のメンバーを同じユニットとしなかったため、まずは、グループ分けをするために簡単なゲームをしました。最初は遠慮がちだったご家族もお互いに声をかけ合い、生まれた日にちが早い方から一列に並んでももらいました。とても盛り上がりました!



おかわりー!



次に中村美千子理事長より
開会のあいさつがありました。



その後は、お茶を飲みながら意見交換しました。入居者様への想いや、施設へのご意見など感じていることをたくさん話していただきました!

デイサービス作品展を開催しました。

去る11月24日から12月6日まで作品展を開催しました。デイサービスではリハビリの一環として、折り紙や牛乳パックで作る小物入れ、刺し子、習字などを作成していました。片麻痺の方にも1人で作業できるように作品を固定する等、職員同士でアイデアを出し合い、できる限りご自分で作品を作ってもらいました。ご自宅でも作品作りに取り組み、デイサービスでその成果を披露して下さる方もいらっしゃいました。その結果、期待以上の作品ができ、ご家族や地域の方に見てもらいたいと思い、作品展の計画を立て家族交流会に合わせて開催しました。飾り付けも作品が映えるよう、ひな壇を活用したり、刺し子は天井から吊るしてインパクトを出すなど工夫をこらしました。見に来てくださったご家族が涙まれる姿も見られました。又、写真を撮られている方もいらっしゃいました。

来年もぜひ開催してほしいという声が多くありましたので、次回に向けて力を入れていきます。

